会社概要

私たちはグループビジョンを実践し、お客さまに「行動」と「感動」を提供します。

グループビジョン

グループ理念

私たち西武グループは地域・社会の発展、環境の保全に貢献し、
安全で快適なサービスを提供します。
また、お客さまの新たなる感動の創造に誇りと責任を持って挑戦します。

グループ宣言

私たちは、「お客さまの行動と感動を創りだす」
サービスのプロフェッショナルをめざします。

1. 誠実であること

常に、「安全」を基本にすべての事業・サービスを推進します。
常に、オープンで、フェアな心を持って行動します。
常に、お客さまの声、地域の声を大切にします。

2. 共に歩むこと

常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れません。
常に、地域社会の一員として行動します。
常に、グループ内外と積極的に連携を図ります。

3. 挑戦すること

常に、グローバルな視点を持って行動します。
常に、時代を先取りする新しいサービスを提案します。
常に、お客さまの生活に新しい感動を提供します。

スローガン

でかける人を、ほほえむ人へ。

◎ グループスローガンロゴ

西武グループのブランドを創りあげていくために、
私たちの姿勢をビジュアルとして明確にしたものが、このロゴです。
未来へと向かって革新的なサービスを生みだす
「西武グループのたゆまぬ挑戦」を表現するもの。
そして、爽やかなSeibu Group Blueとそのグラデーションは、
常に変化していく私たちの革新性・先進性を象徴しています。
このロゴは、グループ全社をひとつにまとめ、
西武グループのブランドの価値を
一目でお客さまに伝える役割を果たします。

グループの広がり

西武グループにおける西武鉄道の事業

■ 西武グループの事業

西武グループの事業は、お客さまの“行動”と“感動”を創りだす「都市交通・沿線事業」、「ホテル・レジャー事業」、「不動産事業」、そしてそれらと密接にかかわる「建設事業」および「その他」で構成されています。

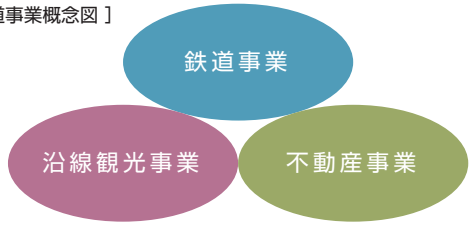
グループビジョンのスローガンである「でかける人を、ほほえむ人へ。」のもと総合生活産業を展開する企業体として、グループ企業間におけるシナジーを最大限に追求しながら各事業を推進し、成長を続けています。

［ グループ事業概念図 ］

■ 西武鉄道の事業

西武グループの成長の安定的基盤としてその中核を担う西武鉄道は、東京・埼玉エリアにおいて通勤・通学・観光など、お客さまの生活に欠かせない公共交通機関として事業を展開しています。その社会的使命である「安全・安心」を基本に、新宿線連続立体交差事業、ホームドアの設置を進めるほか、新型車両の導入や、所沢駅東口駅ビル計画などによる利便性の向上や快適なサービスの提供に努めています。

［ 西武鉄道事業概念図 ］



鉄道事業

池袋線・新宿線のふたつの幹線を中心とした176.6kmの路線を有し、2020年度は1日129万人のお客さまにご利用いただきました。お客さま本位の質の高いサービスの提供と安全性のさらなる向上を目指しています。

沿線観光事業

沿線にお住まいの方々には魅力を再発見していただき、沿線外の方々には、何度も当社線をご利用いただけるように、自然や景観を生かしたレジャー・スポーツ施設を展開し、沿線の活性化に努めています。

不動産事業

社有地を有効活用し、沿線価値を高めるために不動産賃貸事業と不動産販売事業を展開。賃貸事業では賃貸ビルや駅ナカ商業施設など、販売事業では住宅分譲事業や駅周辺でのマンション開発などを行っています。

会社の歴史

おいたち

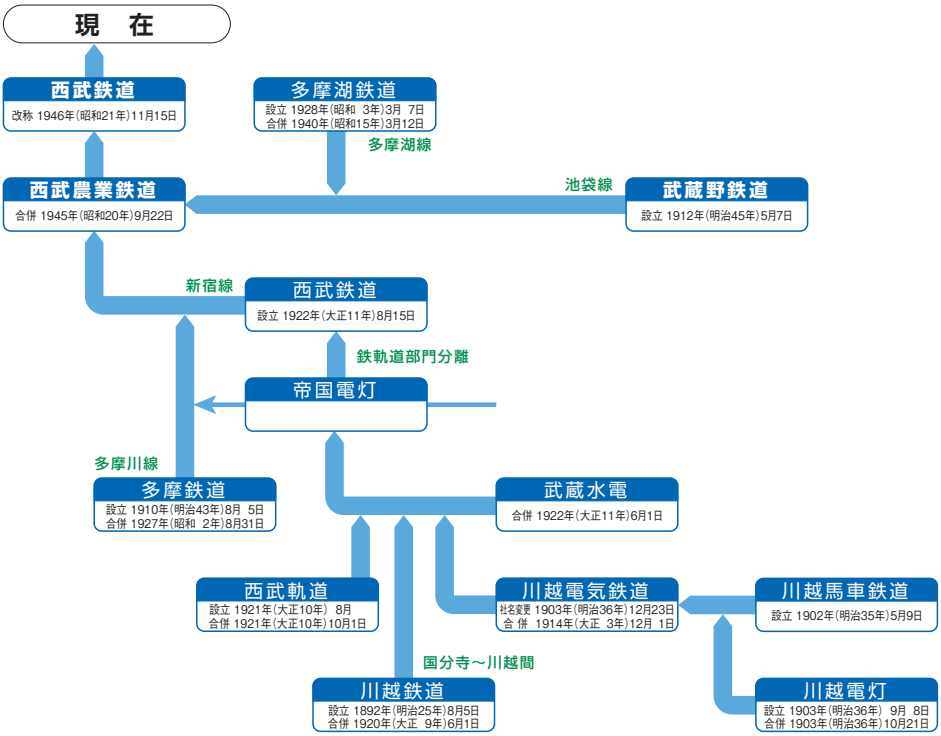
当社の前身である武蔵野鉄道は、1912年（明治45年）5月7日資本金100万円をもって設立され、1915年（大正4年）4月池袋～飯能駅間43.7kmを汽車によって営業開始しました。その後、電化、複線化、線路の延長を進め、1929年（昭和4年）9月、現在の池袋線が完成しました。1945年（昭和20年）には旧 西武鉄道（現 新宿線、国分寺線、西武園線、多摩川線、安比奈線［廃止］）を合併し、翌1946年（昭和21年）にはバス部門を分離して、社名を現在の西武鉄道として新たに発足し、戦後の困難を克服して復興に努力してきました。

その後は、新線の建設、複線化、駅舎や駅構内の改良、車両の増備などにより、輸送力の増強・サービスの向上に努める一方、観光、不動産などの生活関連事業を営み、沿線の発展、活性化にも努めてきました。

また、近年は“人と環境にやさしい鉄道”を目指してバリアフリー施設の充実に力を入れるとともに、環境に配慮した施設や車両の導入を進めています。

現在、幹線2、支線10を含む12路線、旅客営業キロ176.6km、輸送人員129万人（2020年度1日平均）を数える都市交通の担い手として、地域社会の発展に貢献しています。

沿革図



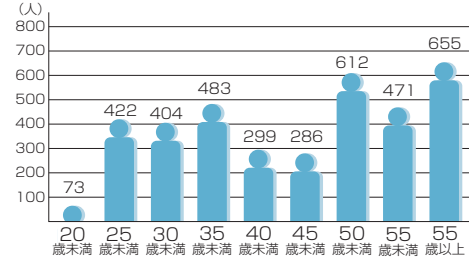
会社のあらまし

会社のあらまし

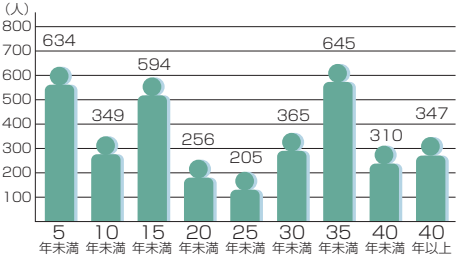
- **社 名**
  西武鉄道株式会社
  SEIBU RAILWAY Co., Ltd.
- **設 立**
  1912年(明治45年)5月7日
- **本店所在地**
  東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
- **本社所在地**
  埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の1
- **資本金**
  56,665,232,000円
- **事業内容**
  鉄道事業、沿線観光事業、不動産事業
- **従業員数**
  3,730人(2020年度末)
- **売上高**
  1,109億円(2020年度)
- **旅客営業キロ**
  176.6km(2020年度末)
- **駅数**
  92駅(旅客駅のみ)
- **在籍車両数**
  1,286両(2020年度末)
- **輸送人員**
  129万人(2020年度1日平均)
- **運輸収入**
  1億94百万円(2020年度1日平均)

従業員の状況 ※実人員ベース(派遣社員を除く)

〈 年齢別構成 〉

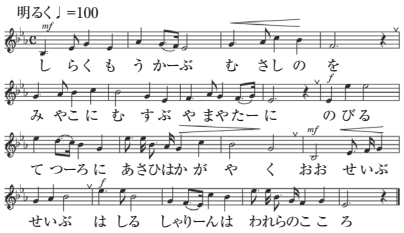


〈 勤続年数別構成 〉



平均年齢	41.0歳	平均勤続年数	20.6年	男女比率	男 92.4%：女 7.6%

西武鉄道社歌

作詞　門田ゆたか
作曲　古関裕而
昭和28年11月29日

2、二条の光　ひとすじに
ハンドル握りペンを執り
進み行く途に文化は花咲く
おお西武　西武
輸送果すは　われらの任務

3、御国の栄　担いつつ
鋼に刻む　わが理想
仰ぐ高嶺にその名は轟く
おお西武　西武
清き社紋は　われらの誇り

業　績

2020年度業績の概況（単体）

2020年度の営業収益（売上高）は1,109億円（前期比24.4%減）で、経常利益は▲37億円（前年度実績241億円）、当期純利益は11億円（前期比73.7%減）となりました。

鉄道事業

当期の鉄道事業の営業収益は745億04百万円（前期比28.1%減）、営業利益は▲35億91百万円（前年度実績222億42百万円）となりました。

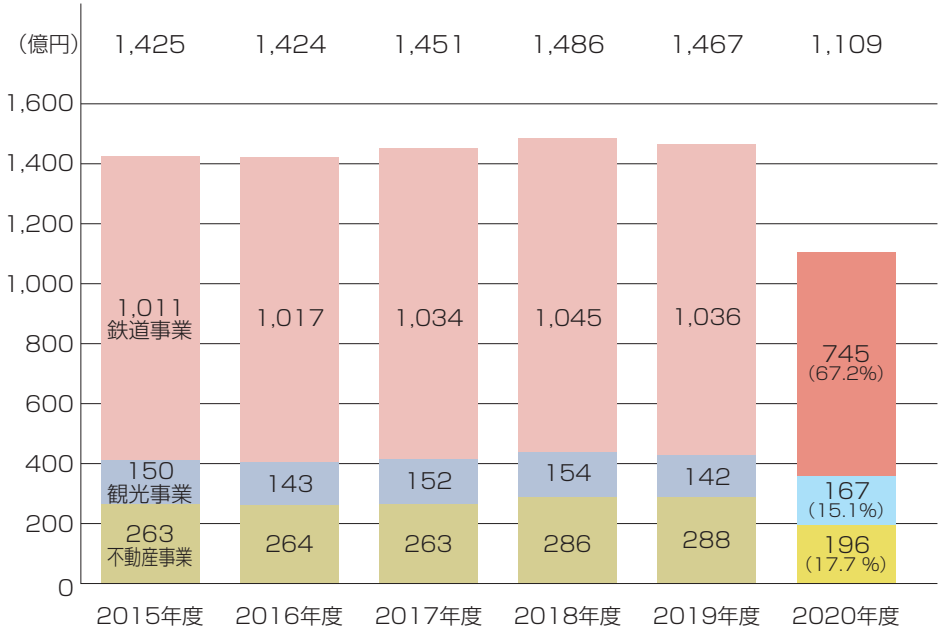
また、輸送人員は、定期旅客が3億03百万人（前期比27.7%減）、定期・定期外合計で4億72百万人（前期比28.7%減）となりました。

生活関連事業

当期の観光事業の営業収益は167億76百万円（前期比30.7%減）、営業利益は▲19億16百万円（前年度実績▲4億36百万円）、不動産事業の営業収益は196億74百万円（前期比4.0%増）、営業利益は55億69百万円（前期比2.2%増）となりました。

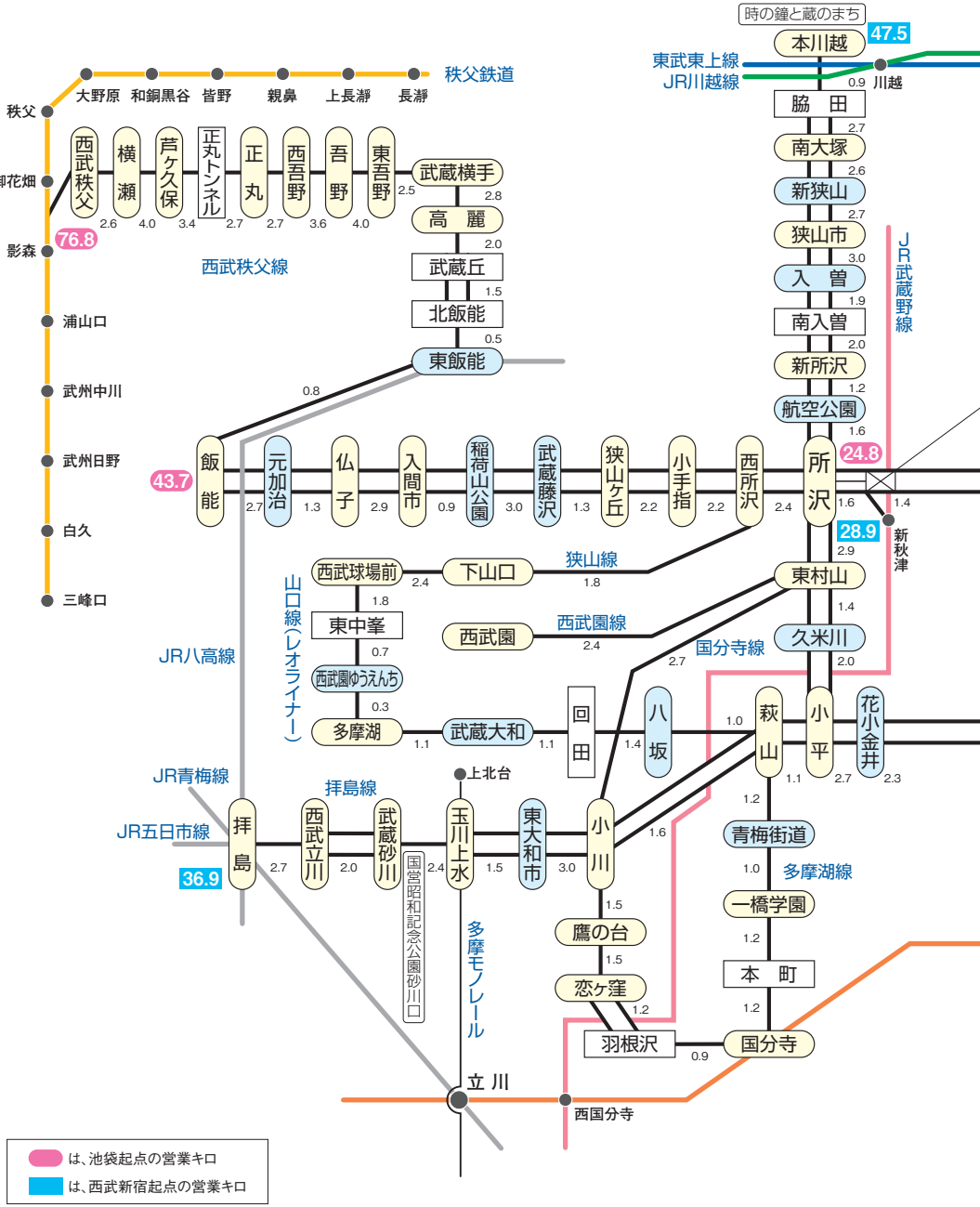
この結果、生活関連事業全体の営業収益は364億51百万円（前期比15.5%減）、営業利益は36億52百万円（前期比27.1%減）となりました。

■最近6年間の営業収益（売上高）の推移 （億円未満切り捨て表示）



12路線、176.6kmの交通網で地域の発展に貢献します。

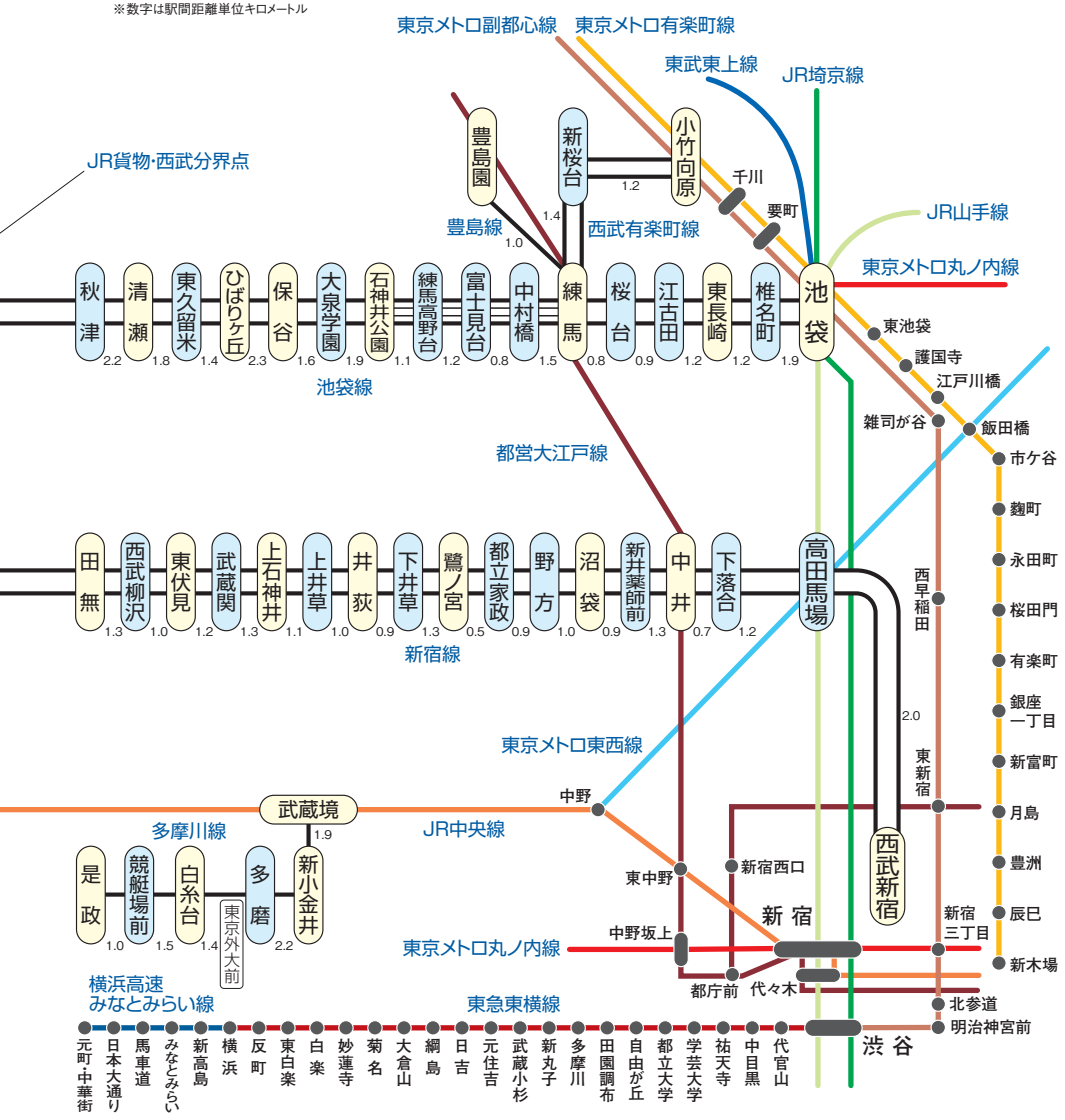
路線図



停車場(57ヵ所)
停留場(35ヵ所)
信号場(9ヵ所)
貨物会社・西武分界点(1ヵ所)
複々線
複線
三線
単線
※数字は駅間距離単位キロメートル

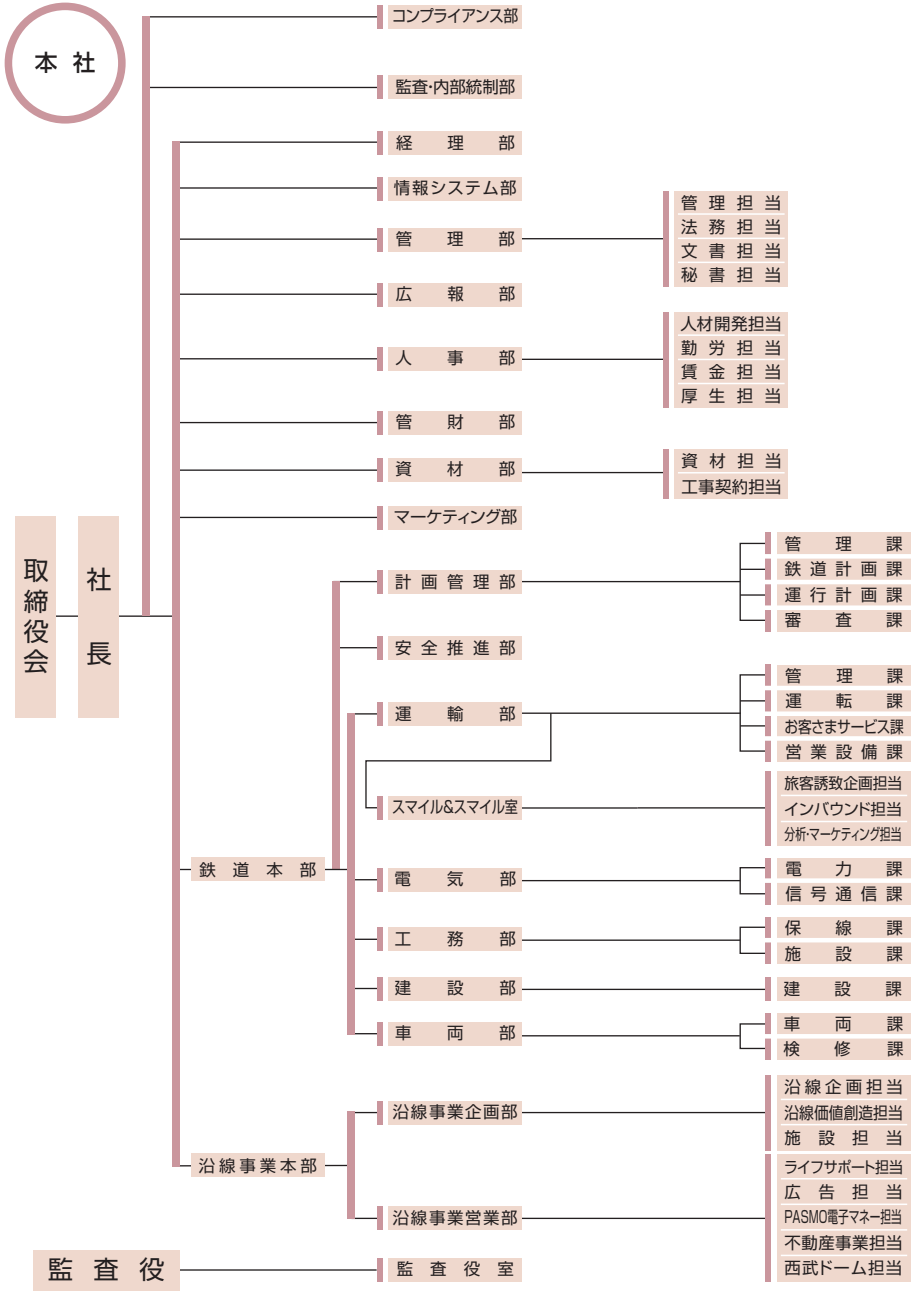
■線別営業キロ

線名	区間	営業(km)	線名	区間	営業(km)
池袋線	池袋～吾野	57.8	新宿線	西武新宿～本川越	47.5
西武秩父線	吾野～西武秩父	19.0	西武園線	東村山～西武園	2.4
西武有楽町線	練馬～小竹向原	2.6	国分寺線	国分寺～東村山	7.8
豊島線	練馬～豊島園	1.0	拝島線	小平～拝島	14.3
狭山線	西所沢～西武球場前	4.2	多摩湖線	国分寺～多摩湖	9.2
山口線	多摩湖～西武球場前	2.8	多摩川線	武蔵境～是政	8.0
				合計	176.6

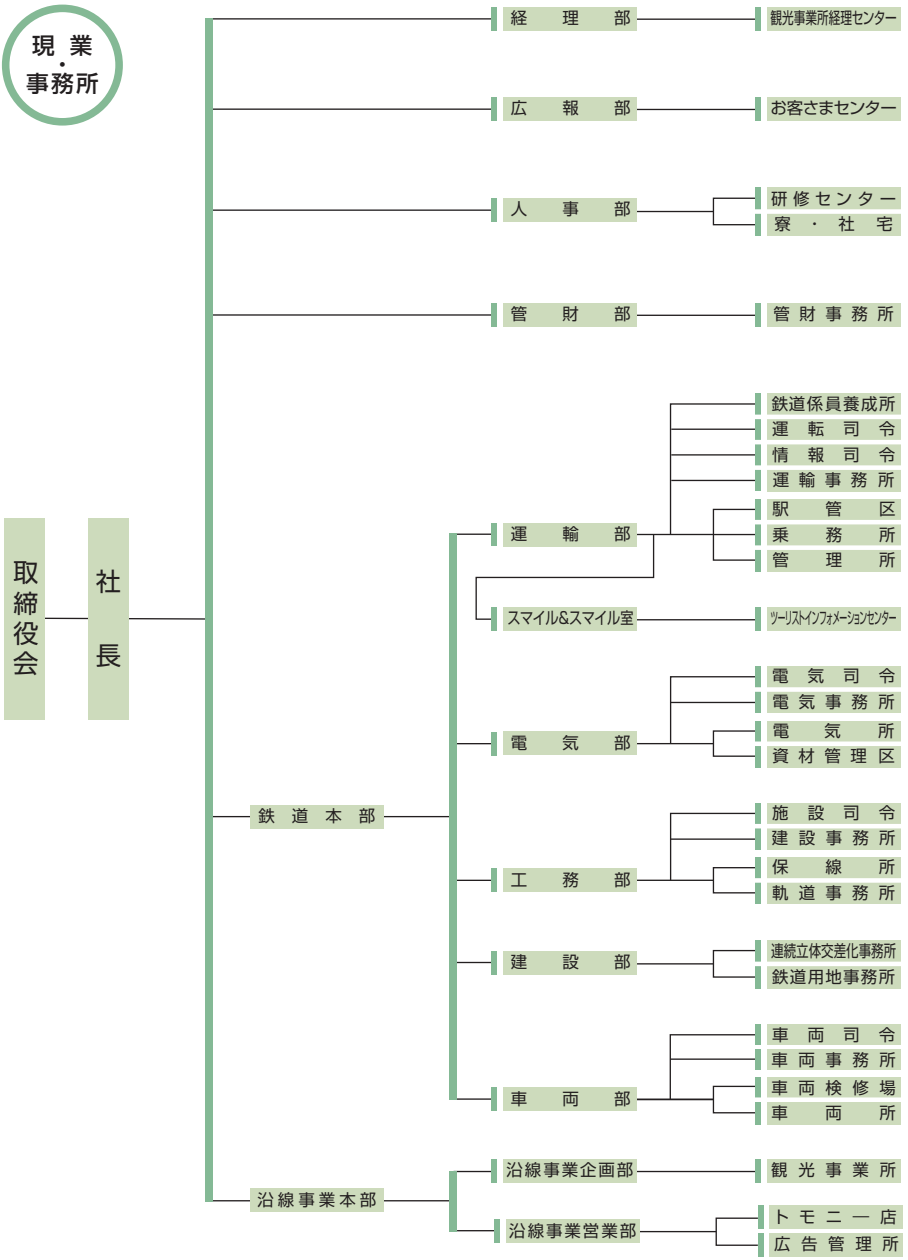


業務組織

※2022年4月1日現在



※2022年4月1日現在



想いをシンボルマークに託し、皆さまに愛される西武鉄道を目指します。

SYMBOL & COLOR

西武鉄道

◎ 社名マーク

社名左側のシンボルマークは、西武グループの「西」の文字がモチーフ。2つの輪は、人と人、地域と地域、都市と自然など、鉄道によって、さまざまなものが出会い、交わり、つながる姿を表しています。マーク全体が果実のように見えるデザインは、その交流によって生まれる「実り」「地域・社会の発展」を表しています。

◎ ブランドカラー

落ち着いたブルーは「信頼」「安全・安心」、明るいブルーは「新しいことへの挑戦」、若葉を思わせるグリーンは「自然との調和」をイメージしています。

皆さまの夢や想いをかなえる沿線を目指します。

コーポレートメッセージ

あれも、これも、かなう。
西武鉄道

◎ コーポレートメッセージの意味

人々でにぎわう都市の活気だけでなく、豊かな自然に囲まれた観光地や、趣味や遊びを思いきり楽しむ暮らしだってある。
そんな、誰もが自分らしく生きる街へ。
「都市も自然も」「仕事も遊びも」「暮らしも観光も」
西武鉄道は、皆さまの夢や想いをかなえる沿線を目指します。

◎ ロゴマーク

鮮やかなブルーとグリーンは「空」と「緑」、「都市」と「自然」、「仕事」と「遊び」など、西武鉄道の持つ二面性を表現しています。
そして、車窓をイメージしたフレームに配置したコーポレートメッセージは、やさしいグレーと柔らかな明朝体で、信頼と親しみやすさを表現しています。

企業価値・沿線価値向上を目指したブランディング活動

選ばれる沿線を目指して

コーポレートメッセージである「あれも、これも、かなう。西武鉄道」のテーマである二面性を切り口に、活気あふれる都市へとつながる、洗練された街と自然の潤いが両立した当社沿線の多様な魅力を積極的に発信し、企業価値・沿線価値の向上に取り組んでいます。

多彩な魅力を発信するPRを展開

企業情報を発信

■ 企業PRポスター

「お客さまの夢や想いを“かなえる”ために」というテーマで、2020年度は魅力的に進化した“所沢エリア”をPRするポスター（駅貼り・中づり）を掲出しました。

■ コーポレートメッセージ ブランドWebサイト・SNS

コーポレートメッセージの世界観を伝える動画コンテンツの紹介や、当社社員が事業の背景や想いを語る「『あれも、これも』ストーリー」などを掲載。InstagramやTwitter、Facebookでも定期的に情報を発信しています。

快適な住環境、沿線の新しい魅力を紹介

エリアの魅力を発信

■ SEIBU GRAFFITI

若者向け人気カルチャー誌「TOKYO GRAFFITI」とコラボレーションした「SEIBU GRAFFITI」をWebサイトなどで公開しています。西武線沿線で暮らす“人”にスポットを当てた沿線利用者参加型の企画を通じて、沿線に「住む」ことの魅力を紹介し、沿線の新しい魅力を発見していただくことを目的にしています。

西武線沿線に彩りある暮らしをお届け

SEIBU Green Marchéを開催

2017年より練馬区後援のもと、石神井公園駅中央口改札前にて「SEIBU Green Marché」を開催しています。このマルシェは、練馬区を中心とした西武線沿線産の食材や名産品のおいしさ、すばらしさを生産者さまから直接伝え、味わっていただくことで、西武線沿線の魅力を再発見していただき、その街や駅での暮らしをもっと好きになっていただきたいという想いを込めています。

常に「安全」を基本に、すべての事業を推進しています。

安全への取り組み

各管理者、関係部長の責務を明確に規定

安全管理体制

「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築して運用しています。「安全統括管理者」ならびに「運転管理者」「電気施設管理者」「建設施設管理者」「工務施設管理者」「車両管理者」「乗務員指導管理者」および関係部長の責務を明確に規定し、これに基づいておのおのが輸送の安全確保のための役割を担っています。(下図参照)

安全方針・スローガン

地域・社会の発展や環境の保全に貢献し、安全で安定した輸送と快適なサービスを提供すべく、誠実に事業に取り組みます。

■ 安全方針

1.常に一人ひとりが安全最優先意識を持って、事業・サービスを推進します。
2.常に法令・規則を守り、誠実に職務を遂行します。
3.常にコミュニケーションを図り、風通しの良い職場環境を構築します。
4.常に安全管理体制をチェックし、その向上に努めます。

■ 安全スローガン

『責任事故・インシデント「0(ゼロ)」』

事故防止のためのさまざまな対策

主な安全管理活動

経営層による安全巡視および意見交換会の実施

夏季および年末年始輸送の安全確保総点検期間中を中心に、社長をはじめとする役員が現場を巡視して安全管理の状況を確認するとともに、現業社員との意見交換を実施してコミュニケーションを図っています。

意見交換会

安全に関する各種会議の開催

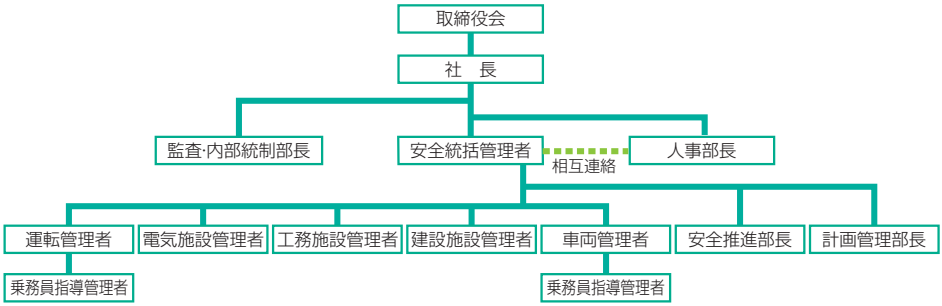
■ 運輸安全推進委員会

社長・安全統括管理者および、安全管理規程に責務が規定された各管理者・関係部長により構成されている会議です。輸送の安全を確保するための方針・重点施策のほか、事故情報、現業社員から報告された「事故の芽情報」をもとに、さまざまな対策や安全性の向上に関する事項について審議しています。(月1回)

■ 鉄道安全幹事会

運輸安全推進委員会の下部機関で、関係する各部門の課長クラスにより、安全対策の具体的な内容について調査・研究を行っています。(月1回)

[安全管理体制図]



異常時に備えた体制整備および各種訓練

鉄道事故、自然災害、テロ、その他さまざまな非常事態に備え、「西武グループ危機管理規程」「災害対策規程」「鉄道事故処理要領」「鉄道テロ対策における行動基準」など規程類のほか、BCP（事業継続計画）を策定し、緊急時の対応体制を確立しています。

また、脱線、踏切事故、大震災、鉄道テロなどを想定した実践的な訓練を定期的に実施し、万一の際に備えています。

総合復旧訓練

「事故の芽情報」の収集・活用

「輸送の安全に支障を及ぼす恐れのある事柄」「事故には至っていないが、事故につながる可能性がある（あった）」と社員各個人が感じた「ヒヤリ・ハット事象」や「気がかり事象」に関する情報を幅広く収集しています。

その後、分析・評価を行ったうえで、内容やリスクの大きさに応じて対策を講じ、事故を未然に防ぐという取り組みを行っています。報告された案件について順次対策を講じるとともに、現場にフィードバックすることで情報の共有化を図り、安全性の向上に役立てています。

事故の芽情報の流れ

事故の芽ポストへの投函 / メールによる投稿
↓
現業での対策記入 / 安全推進部で受付
↓
各部で調査を行い、部としての対応を記入
↓
安全推進部で集計・分析
↓
鉄道安全幹事会で審議
↓
運輸安全推進委員会で審議
↓
フィードバック

過去の事故事例の教育

当社では、1986年3月23日の降雪時に、田無駅に停車していた電車に、後続の電車が停止できずに追突するという事故を起こし、多数の負傷者を出しました。これを受け、この事故の概要や当社および他社の事故事例を、写真や画像を用いて社員に安全教育するための「事故情報展示室」を2008年度に開設し、「安全最優先」の大切さを学んでいます。

併せて「安全輸送推進週間」を設定し、輸送の安全講演会などを行っています。

事故情報展示室

展示品

安全対策の全般を告知

「安全・環境報告書」の公表

鉄道事業法の規定に基づき、安全に関する基本方針と目標、事故・障害の発生状況と再発防止策、安全確保のための取り組み、安全管理体制など、当社の安全対策全般をお客さまにお知らせすることを目的とし「安全・環境報告書」をWebサイトで公表しています。

温暖化対策、騒音対策、省資源、自然環境保全にも配慮しています。

環境への取り組み

地球の未来のために私たちができること

地球温暖化対策

駅でのエコ活動

■ 駅コンコースなどへのLED照明の導入

CO_2の削減と省エネルギーを目指して、駅リニューアルなどの設備改修時に、コンコース、階段、トイレ、ホーム待合室などの各施設でLED照明化および省エネ照明化を進めています。

所沢駅 西口

■ 駅の緑化

お客さまに潤いと安らぎの空間を提供するとともに、環境保全にも貢献。駅の外壁やコンコース、ホーム待合室、屋上、トイレなど、多様な緑化に取り組んでいます。

◎椎名町・江古田・石神井公園・入間市・西武球場前・高田馬場・野方・久米川・所沢・航空公園・狭山市・武蔵境・多磨駅など

■ テント膜の使用

自然光を取り入れ、明るく広い駅空間を演出するとともに、電気使用量を削減します。

◎池袋・江古田・石神井公園・保谷・ひばりヶ丘・西武新宿・中井・下井草・花小金井・所沢・狭山市・本川越駅

所沢駅

■ 旅客トイレへの雨水利用

トイレ洗浄水への雨水再利用システムを導入しています。

◎石神井公園・狭山市駅

■ 太陽光発電システムの導入

◎東長崎・江古田・石神井公園・武蔵藤沢・野方・下井草・所沢・拝島駅

■ 再生材の使用

駅舎のコンコースや外壁に使用しています。

◎石神井公園・狭山市駅

■ 間伐材で作ったベンチを設置

当社保有の「飯能・西武の森」などの間伐材を使用したベンチを、15駅のホーム待合室やコンコースなどに設置しています。

◎池袋・石神井公園・東久留米・秋津・入間市・元加治・飯能・東飯能・武蔵横手・吾野・芦ヶ久保・横瀬・西武新宿・狭山市・西武立川駅

狭山市駅

■ 古レールの利用

コンコース内のりば案内の柱や、街灯の柱に再利用しています。

◎椎名町・東長崎・江古田・中村橋・野方駅

■ 床へのガラスブロックのはめ込み

所沢駅の改札前などの床面に、ガラスブロックをはめ込み、橋上駅舎のコンコースの明かりをホームへ取り入れています。

■ 自然と調和した駅舎計画

武蔵大和駅では、駅舎脇の桜の木をできる限り伐採しないよう駅舎の形を設計し、改良工事を行いました。

2011年10月には、桜並木を生かした環境配慮が特に優れていると認められ、鉄道建築協会賞「作品部門」に入賞しました。

武蔵大和駅

※2021年3月31日現在

車両のエコ活動

■ LED照明の導入

2013年度以降の新造車両（30000系、40000系および001系）より、車内にLED照明を導入し、消費電力およびCO_2排出量を約30%削減するとともに、廃棄物を削減しています。また、6000系、20000系、30000系（蛍光灯車）のLED照明化を行いました。

■ 車両の軽量化

◎6000系（ステンレス製、アルミ製）
◎20000系・30000系・40000系・001系（アルミ製）

40000系

■ 車両へのVVVF（可変電圧可変周波数制御）インバータ装置の採用と高効率化への更新

2016年度以降に導入した40000系および001系には最新技術のモーターを採用。また、2014年度より6000系車両のインバータ装置の更新を順次実施しており、さらなる省エネルギー化を図っています。

◎6000系・8500系・9000系・10000系（一部）・20000系・30000系・40000系・001系

■ 車両の電力回生ブレーキ（ブレーキにより発電した電力を架線に戻し、ほかの電車が再利用するシステム）の採用

◎2000系・6000系・8500系・9000系・10000系（一部）・20000系・30000系・40000系・001系

■ 車両のVVVFインバータ装置の主回路素子冷却用冷媒をフロンから環境負荷のない純水へ切り替え

■ 熱線反射フィルムを導入

20000系、9000系、6000系、4000系、2000系の一部の車両の窓ガラスに、紫外線の透過や温度上昇を抑制する「熱線反射フィルム」を導入しています。

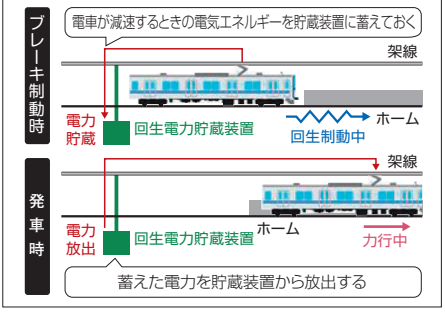
電気のエコ活動

■ 駅や踏切の照明にLEDを導入

■ 回生電力貯蔵装置（電力回生ブレーキにより発電された電力を蓄えて必要なときに供給する装置）の設置

◎田無変電所・吾野変電所・正丸変電所

<回生電力貯蔵装置の概念図>



■ 駅舎補助電源装置の導入

電車がブレーキをかけたときに発生する電力（回生電力）を、駅設備（照明・空調・昇降機）の電源として用いて省エネルギー化を図る設備で、電力を有効活用することで消費電力を削減します。

◎池袋ほか12駅

■ 日本初※100%自社の太陽光発電でレオライナーを運行

東京電力エナジーパートナー株式会社の協力により、山口線（レオライナー）で使用する電気使用量のすべてを、当社運営の「西武武山ソーラーパワーステーション」が発電する環境価値が付いた電力でまかなうことを実現。これにより年間約300トン排出していたCO_2を実質ゼロで運行することが可能になりました。

※自社太陽光発電由来の環境価値が付いた電力による通年・全列車の運行（西武鉄道調べ）

沿線でのエコ活動

■ 沿線の美化・緑化

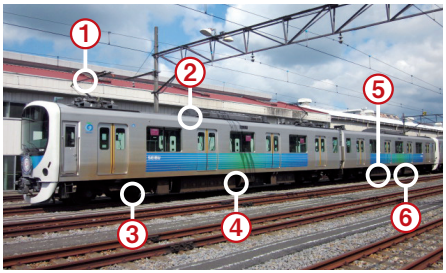
◎東久留米～清瀬駅間、新井薬師前～沼袋駅間、高麗駅、横瀬～西武秩父駅間などの線路脇などへ植樹
◎武蔵境駅高架橋上の線路間スペースに緑化を実施

環境への取り組み

沿線の方々への配慮も忘れません

地域環境保全対策

車両における騒音・振動の低減



（写真の車両は30000系）

① 走行時の風切り音を低減するため「シングルアームパンタグラフ」を採用

② ステンレス製またはアルミ製による「車両の軽量化」（6000系・20000系・30000系・40000系・001系）

③ カーブ区間における「きしり音」などの騒音を低減するため「防音車輪」を採用

④ 新型交流モーターを駆動制御することで、モーター回転音の低減を図る「VVVFインバータ制御装置」を採用

⑤ 車内の冷暖房や蛍光灯などの電源の発電機を、回転機から静止型インバータに切り替え

⑥ ブレーキ装置の動作やドアの開閉に使用する電動空気圧縮機を交流化し、回転音を低減

■ その他

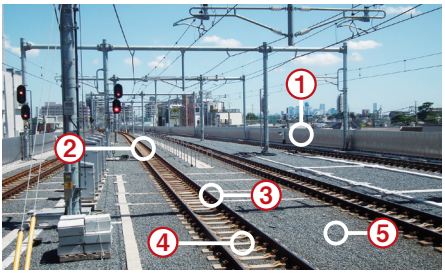
◎電車の警笛にやわらかな音色の「電子ホーン」を採用

◎車輪の摩擦によってできる平面を防止するため、車輪に「滑走防止装置」を設置

◎定期的な「車輪の削正」により、車輪表面の凹凸をなくし、走行時の騒音を低減

車輪の削正の様子

軌道における騒音・振動の低減



① 高架区間に、電車通過時の騒音を低減する「防音壁」を整備

② レールを溶接し、レールの継ぎ目個所を減少させることで、列車の騒音・振動を低減、乗り心地の向上が図れる「ロングレール化」を実施

③ 振動の低減を図るために、レールの重量を1mあたり50kgから60kgに交換する「レールの重軌条化」を推進

④ 騒音の低減、乗り心地の向上を図るために「防振マクラギ」を使用

⑤ 高架区間におけるコンクリート道床に、「消音砕石」を散布

■ その他

◎レール削正車により、レール踏面（電車の車輪がレールに接触する部分）を削正

◎継ぎ目の数を減らし、騒音・振動の低減が図れる「弾性分岐器」を導入

◎夜間作業で使用する保線機械に「防音扉」を設置

◎工事における騒音・振動の抑制のために、低騒音・低振動の工法・機械を採用

レール削正車

連続立体交差化による踏切部の交通渋滞の解消

◎池袋線 桜台～練馬高野台駅間
（19踏切廃止済）

◎池袋線 石神井公園駅付近
（9踏切廃止済）

◎新宿線 中井～野方駅間
（今後7踏切廃止予定）

◎新宿線 東村山駅付近
（今後5踏切廃止予定）

◎多摩川線 武蔵境駅付近
（3踏切廃止済）

石神井公園駅付近

VOC（揮発性有機化合物）排出量削減対策

■ 亜鉛メッキ処理

◎池袋・東長崎・ひばりヶ丘駅など

VOC対策（亜鉛メッキ処理・池袋駅）

小さなことの積み重ねから始まります

省資源・廃棄物対策

省資源対策

■ 使用済み乗車券類のリサイクル
■ 資源ゴミのリサイクル
■ 建設現場におけるリサイクル材の使用
■ 座席の詰物へのリサイクル可能なポリエステル素材の使用
■ 車両製造時および廃棄時にリサイクル性の高いアルミ構体を採用

廃棄物対策

■ PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物の適正管理、適正処理
■ 建設リサイクル法に則った建設廃材の適切な処理
■ 車両部品の非アスベスト化
■ 車両の電子機器プリント基板の非鉛化

環境への取り組み

自然環境保全への取り組み

森づくり

当社では、CSR（企業の社会的責任）の観点から、社有地を活用した森づくりを進めており、未来へつながる自然・地球環境の保全に取り組んでいます。

■ 飯能・西武の森

飯能駅より徒歩約20分の市街地に隣接する面積約130haのこの森は、定期的に間伐を実施するなど、地域の方々とともに森づくりに取り組んでいます。2015年度・2016年度には、野球のバットの材料となる「アオダモの木」を、2017年度には榎と山桜を植樹しました。

また、環境教育やエコツアーの場としても活用されており、約77haは2017年4月から、公益財団法人　都市緑化機構が実施する「社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES・シージェス）」の「Superlative　Stage（最高位）」に認定され、2017年9月には、同機構による「みどりの社会貢献賞」を受賞しました。

飯能・西武の森

SEGES認定証

■ 芦ヶ久保・西武の森

埼玉県県民の森に隣接する当社および秩父市の所有林の中に、「ウェルカムストリート」を設置。これは、埼玉県の「彩の国みどりの基金」により造られ、多くの方に森林とのふれあいを楽しんでいただくため、ユニバーサルデザインになっており、車いすでのご利用が可能なほぼ平坦な遊歩道です。

■ その他

◎ さいたま緑の森博物館

埼玉県・入間市・所沢市・公益財団法人トトロのふるさと基金と当社の5者で「さいたま緑の森博物館の保全と活用に関する協定」を締結し、狭山丘陵の豊かな自然をともに守っていく取り組みを進めています。

エネルギー情勢にも対応

太陽光発電事業

2014年1月、埼玉県日高市に武蔵丘車両検修場太陽光発電設備、同年8月、埼玉県飯能市に西武飯能日高ソーラーパワーステーション、2019年2月、神奈川県横須賀市に西武武山ソーラーパワーステーションが竣工しました。現在、西武鉄道では3つのメガソーラー太陽光発電所が稼働し、発電した電力は電力事業者に売電しています。

西武武山ソーラーパワーステーション／南サイト

西武武山ソーラーパワーステーション／北サイト

さまざまなふれあいを通じ、お客さま・地域とともに歩みます。

お客さま・地域とのコミュニケーション

広報誌、Webサイト、SNSなどを通じて 情報発信

■ 広報誌「西武鉄道かわら版」

当社の安全・安心・快適のための取り組みや沿線のトピック、グループ情報などを紹介しています。全駅で配布しているほか、Webサイトでも公開しています。

■ 西武ニュース remo(レモ)

西武線沿線でできる「あんなコト」「こんなコト」を西武ニュースならではの視点で発信しています。

■ その他のパンフレット

◎ウォーキング&ハイキングなど

■ 西武線アプリ

公式スマートフォンアプリでは、運行情報、列車走行位置などニーズの高い情報をリアルタイムで配信しているほか、楽しいイベント情報やおトクなクーポンを配信しています。

■ Hanako w/Seibu

ライフスタイル誌「Hanako」とタイアップし、魅力的なお店や暮らす人をきっかけにライフスタイルやコミュニティーの輪を知ることで、西武線沿線の街で暮らすイメージを思い描くことができるサイトとなっています。

■ 西武鉄道Webサイト

<https://www.seiburailway.jp>

運行情報、乗換案内、企業情報、観光情報などを発信しており、最新の情報は、スライド式のメインバナーで紹介しています。

◎ **花さんぽ**(Webサイト)

<https://www.seiburailway.jp/railways/hanasanpo/>

沿線に咲く四季折々の花々を花スポットとともに紹介しています。

◎ **ぐるっとプラス**(Webサイト)

<https://grutto-plus.com>

"遊んで""食べて""自然に触れる"西武線沿線地域の魅力を共有・発信する情報サイトです。さまざまなスポットを8つのジャンル・エリアに分類。お出かけがもっと楽しくなる情報を随時公開・発信していきます。

■ すもうよ!西武線沿線

2019年度より、SUUMOとタイアップし、西武線沿線の住まい情報を発信することを目的としたWebサイトを制作しています。街の情報・魅力をお届けするとともに、より西武線沿線で暮らすイメージを深めていただけるコンテンツをご用意しています。

■ 西武鉄道運行情報Twitter

当社線の電車の運行に15分以上の遅れが発生、または見込まれる場合に「西武鉄道Webサイト」で発信している運行情報を、Twitterを活用してお客さまのスマートフォンなどの端末にお届けしています。

■ 訪日外国人向けSNS[英語・中国語(繁体字)・タイ語]

当社線沿線の行事、旬の観光情報およびグループ施設の案内などを2015年4月より発信しています。

お客さま・地域とのコミュニケーション

■ YouTube企業公式チャンネル「西武鉄道公式チャンネル／SEIBU RAILWAY Official Channel」

文章や写真では伝えきれない西武鉄道および西武線沿線の魅力を動画で配信しており、当社の新着情報や企業活動などを随時お届けしています。

■ テレビCM

2013年3月より、秩父地域などへの旅客誘致や、沿線ブランドイメージの向上を目指してテレビCMを放映しています。

■ オリジナルアニメ

2018年3月に観光地の秩父を舞台にしたオリジナルアニメをWebサイトにて公開しました。秩父出身の声優・黒沢ともよさんなど豪華キャストを起用するほか、英語・フランス語・中国語（繁体字）などの多言語字幕で秩父の魅力を国内外に広く発信しています。

■ 駅員さんキャラクター

硬くなりがちなお客さまへの告知などを親しみやすくするために登場しました。さまざまなポスターやパンフレットなどで見られるほか、着ぐるみも製作し、各種イベントで活躍しています。

レイルくん

スマイルちゃん

親子で楽しく電車が学べるWebサイト

西武鉄道キッズ

<https://www.seiburailway.jp/railways/kids/>

魅力的なキャラクターたちとクイズやゲームを楽しみながら、電車のマナーや沿線の魅力などを学べます。電車のお仕事を体験できるコンテンツやお出かけ情報などもあり、親子で楽しめるWebサイトです。

地域の活性化を目的に、自治体と連携

地域との連携

■ 西武線沿線サミット協定

2012年に池袋線・西武秩父線の起点・終点をつなぐ4者（豊島区・飯能市・秩父市・当社）にて発足。2018年より新たに2者（所沢市・横瀬町）を加え、観光・文化・教育・産業・環境などの幅広い分野で連携し、イベントなどを実施しながら各自治体の魅力を発信しています。

協定締結式の様子（2018年4月）

■ 産学連携

2018年4月に江古田にキャンパスを構える日本大学芸術学部と「連携・協力に関する基本協定」を締結しました。本協定に基づき、特急車両Laviewに関わる各種PR施策を実施しました。今後も大学と鉄道がそれぞれの強みを生かしながら、教育や研究、地域貢献などの分野で連携・協力することで沿線価値のさらなる向上を目指していきます。

■ 江古田キャンバスプロジェクト

2019年度より、江古田駅周辺に所在する武蔵大学、日本大学芸術学部、武蔵野音楽大学とともに、江古田のまちを一つのキャンバスに見立て、音楽やアート、カルチャーなど自由な発想・表現で彩り、人と人、人とまちをつないでいくプロジェクトを実施しています。街の活性化とともに、学生の学びを応援することにより地域連携を深めています。

アニメイベントに協力

「練馬アニメカーニバル」「アニメプロジェクトin大泉」への協力

「練馬アニメカーニバル」や大泉学園駅周辺での「アニメプロジェクトin大泉」など、沿線で催されるアニメイベントに協力しています。

沿線地域観光の新しい提案

西武 旅するレストラン「52席の至福」

沿線各地域の活性化と新しい旅行スタイルの提供を目的として、2016年4月にデビュー。4000系車両をリメークし、外観は荒川の水の流れを表現して、車内の一部には伝統工芸品や地産木材である「西川材」を使用しています。また、当社初となるレストラン車両を設け、すべての座席で食事が楽しめます。

西武 旅するレストラン「52席の至福」

3号車（厨房車両 オープンキッチンスペース）

4号車（ダイニング）

お客さまへの感謝の気持ちを込めて

懐かしの「101系」塗色復活

2018年3月より、101系車両2編成をデビュー当時の塗装色であるツートンカラー（イエロー×ベージュ色）に変更して運行しています。お客さまに昔を懐かしんでいただくとともに、長年お客さまにご利用いただいていることへの感謝を込めています。

デビュー当時の塗装色

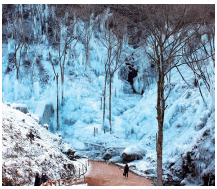
地域団体との協力関係

地域の活性化

秩父地域活性化の一環として、秩父市・羊山公園「芝桜の丘」への旅客誘致を地域団体とともに展開しているほか、芝桜の見頃となるゴールデンウィークを中心に臨時電車・臨時特急も増発しています。曼珠沙華（まんじゅしゃげ）の群生地である日高市・高麗の里「巾着田（きんちゃくだ）」についても同様に協力しています。また、横瀬町で開催する「あしがくぼの氷柱（ひょうちゅう）」に合わせ、特急電車の臨時停車や氷柱のライトアップに合わせた一部電車の徐行運転も行っています。

秩父市・羊山公園「芝桜の丘」

日高市・高麗の里「巾着田」の曼珠沙華



横瀬町「あしがくぼの氷柱」

当社を身近に感じていただくために。

各種イベント

当社へより親しみを持っていただくために
さまざまなイベント

当社では、グループスローガン「でかける人を、ほほえむ人へ。」を実現するために、さまざまなイベントを継続して開催しています。

■ 西武・電車フェスタ in 武蔵丘車両検修場

当社最大の車両検修施設を特別に一般公開して、車両検修作業の見学や実演・体験イベントなどを行い、毎年多くのお客さまにご来場いただいています。なお、2021年はコロナ禍を考慮し、人数を限定して開催しました。

■ ウォーキング&ハイキング

当社が行っているウォーキングイベントです。街歩きからハイキングまで幅広く、季節に応じて楽しめるコースを設定しています。

■ WEST CODE タイムトレインの切符

西武線沿線の駅および駅周辺を実際に散策しながら、冊子に記載されている謎を解き明かしていく、分散周遊型のイベント「WEST CODE タイムトレインの切符」を実施しました。

■ その他のイベント

◎ アニメーションとコラボレーションしたスタンプラリー　など

インバウンドの取り組み

利便性の向上

おトクなきっぷの発売

■「川越アクセスきっぷ」

西武新宿・高田馬場駅から本川越駅までの往復乗車券と、同区間の往復特急券がセットになったおトクなきっぷです。西武新宿・高田馬場駅のほか、海外からのお客さまが多数宿泊されている新宿プリンスホテルでも発売し、利便性向上に努めています。

■「SEIBU KAWAGOE PASS(西武川越パス)」

海外からのお客さま限定で、西武新宿・高田馬場・池袋～本川越駅の往復割引乗車券を、西武新宿・高田馬場・池袋駅にて発売。お守り型で、表面の文字は金箔加工されています。また、京成電鉄の空港第2ビル駅構内の「SKYLINER & KEISEI INFORMATION CENTER」や都内発売協力店舗でも発売しています。

■「SEIBU 1Day Pass・2Day Pass」

海外からのお客さま限定で、西武線全線乗り降り自由(多摩川線を除く)な4種類のおトクなきっぷを池袋・西武新宿駅にて発売しています。1日券・2日券のほか、秩父鉄道にも乗れる「+Nagatoroきっぷ」も好評です。

■「MOOMINVALLEY PARK Ticket & Travel Pass」

海外からのお客さま限定で、飯能の「ムーミンバレーパーク」入園と西武線全線乗り降り自由(多摩川線を除く)ならびに飯能駅などからパーク間のバス往復をセットにしたおトクなきっぷを、池袋・西武新宿・高田馬場駅にて発売しています。訪日外国人のお客さまの便宜を図るため、オンラインでも発売しています。

外国人のお客さまにもわかりやすく

観光・暮らしのサポート

■ 駅施設のサイン

駅設備サインや誘導サインなどは、ピクトグラムや日本語・英語・中国語(簡体字)・韓国語の4ヵ国語で表記しています。車内では、英語による行先・乗換放送が行える機器を導入しています。

4ヵ国語の駅サイン

■ タブレット端末の導入

正確で分かりやすいご案内のために、タブレット端末を導入し、多言語に対応した翻訳アプリのほか、インターネットや地図などを活用しています。

■ 西武ツーリストインフォメーションセンターの開設

池袋・西武新宿駅構内において、海外からのお客さま向けに、より安心・快適に当社線沿線を観光いただくため、西武ツーリストインフォメーションセンターを開設。西武線沿線の魅力を訪日外国人のお客さまにご案内します。

池袋

西武新宿

■ 外国語Webサイト

英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語でWebサイトを展開。駅や電車に関する基本情報や運行情報、沿線観光情報・ニュースリリースなど、当社線の魅力を海外にも発信しています。

■ 外国人定住

外国人の方が当社線沿線でライフサイクルを構築し、住み続けていただくための施策を実施しています。観光目線とは異なり、沿線のお店や人にフォーカスを当てた情報を発信しています。

お客さまに、さらに気持ち良く過ごしていただくために。

サービス向上への取り組み

“おもてなしの心”を

サービス介助士

駅係員や乗務員が「サービス介助士」の資格を取得しており、接客のエキスパートとして活躍しています。

「サービス介助士」とは、公益財団法人「日本ケアフィット共育機構」認定の資格です。この資格は、ご高齢者や障がいをお持ちのお客さまへの「おもてなしの心」と「介助技術」の修得を目的としています。当社では駅係員全員の取得を目指しています。

専門能力の向上を目指し、高レベルで競われる競技会

駅務・乗務競技会

お客さまへのサービス向上、係員の技術向上を目的に毎年行っています。駅係員が業務知識を競う「駅務競技会」のほか、運転士は定時運転による安全な運転技術と乗り心地の向上を競い、車掌は案内放送と接客技術を競う「乗務競技会」があります。

ご高齢者や障がいをお持ちの方々をサポート

駅ボランティア

所沢市と協力し、2004年度より「駅ボランティア」を開始。所沢市内の駅を利用する中学生以上の方、秋草学園短期大学「地域保育学科」と「文化表現学科」の皆さまなどが活動しています。

駅をご利用のご高齢者や障がいをお持ちのお客さまのために、きっぷの購入や手荷物の運搬、通路や階段の移動などをサポートしています。

※2020年度・2021年度は新型コロナウイルスの影響により中止

航空公園駅で実施された駅ボランティア体験会

妊産婦の方々へやさしさを

マタニティマークの配布

鉄道利用の際「妊娠初期の場合は外見からは分かりにくく、妊婦と気付いてもらえない」「勘違いに対する恐れから、妊婦の方へ席を譲れない」。こうした声にお応えし、全駅で妊婦の方々へマタニティマーク（ボールチェーンタイプ）を配布しています。

安全・安心な地域づくりのために

こども110番の駅

地域の一員でもある鉄道事業者では、より安全・安心な地域づくりに貢献するため「こども110番の駅」の取り組みを進めています。

当社でも2006年4月から取り組んでおり、お子さまが助けを求めてきたときに保護し、110番通報するなどの対応を取っています。地域の安全・安心を担う一員として、お子さまにとって楽しく、安心な駅を目指します。

©2021 Gullane(Thomas)Limited

万一のために「AED（自動体外式除細動器）」を設置

AED

心停止状態となった際、心臓に電気ショック（電気的除細動）を与え、救命を図る医療機器です。音声により、心臓マッサージと人工呼吸をガイドします。全駅に設置しています。

お客さまの声を、サービス向上に役立てています。

CSへの取り組み

お客さまの満足度向上のために

CSへの取り組み

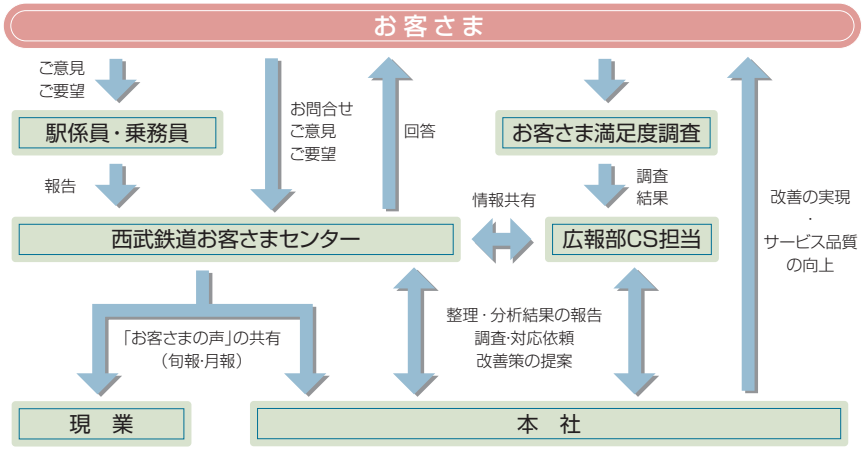
時代とともに多様化するお客さまのニーズを的確にとらえ、よりご満足いただけるサービスを提供していくことが西武鉄道の使命です。そのため当社ではCS（顧客満足=Customer Satisfaction）推進活動に積極的に取り組み、お客さまの満足度の向上に努めています。

「西武鉄道お客さまセンター」はもちろん、駅係員・乗務員に直接寄せられたご意見・ご要望は、すべて「お客さまの声」として整理・分析したうえでデータベース化され、各担当部署に届けられます。この「お客さまの声」は、1ヵ月分をまとめ月報として全職場に配信し、情報を経営陣および全社員が共有しています。

また、当社の取り組みを客観的に評価いただく「お客さま満足度調査」を実施し、その結果を施策に活用しています。

今後もお客さまのご意見・ご要望を真摯に受け止め、「お客さまの期待値を超えるサービス」の実現に努めてまいります。

CSへの取り組み図



お客さまとのコンタクトステーション

西武鉄道お客さまセンター

西武鉄道お客さまセンターは、CS推進体制構築の一環として2006年4月に開設しました。

お客さまとのコンタクトステーションとして、積極的にお客さまの声を広くお聞きし、ニーズを的確にとらえたサービスを提供していけるよう生かしてまいります。また、外国のお客さまからのお問合せは、2011年より通訳を介し三者間通話（現在6ヵ国語）で対応しています。

■ **営業時間**：全日 9:00～17:00
（12/30～1/3を除く）

■ **TEL.**(04)2996-2888
（音声ガイダンスによりご希望の内容をお選びください。）

■ **Webサイト**
https://www.seiburailway.jp
内の「お問合せ・FAQ」をお選びください。

<業務内容>

- サービスや施設に関するご意見・ご要望
- 電車の時刻・運賃のお問合せ
- 特急・有料座席指定列車の空席ご照会
- お忘れ物のお問合せ

明日の西武鉄道を創造する人材を育成しています。

人材育成

職場の業務に直結した知識・スキルの習得

職場内教育

■ 社内教育

各部別教育、講習会、訓練、コンクールへの参加

■ 社外教育

他社見学、各種講座、研究派遣など

社員一人ひとりの意識向上、能力開発を目的とした教育

職場外教育

■ 新入社員教育

入社後に行う各部合同基礎教育および、職場での経験の振り返りやフォロー研修、追研修など

■ 年次別研修

入社4・10・20年目社員、50歳社員に対する研修
総合職に対する職種に応じた研修

■ 合格者研修

各種試験合格者に対する研修

■ 階層別研修

各階層に対する研修

■ OJT研修

指導スキル、教育文化の定着、職場のOJT展開・支援環境の整備、社員育成のための研修

■ グループ合同研修

グループビジョン実現のための戦略の実行と組織の活性化を図るための研修

社員一人ひとりが学び続ける姿勢を育む

自己啓発の支援など

社員の自己啓発を支援するグループ合同通信教育や、自主参加型の全社員向け公開講座、テーマ別公募型研修を行っています。

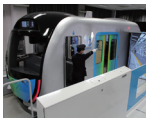
安全意識・技術向上のため

鉄道係員養成所職能教育

■ 運転士教育

◎運転士養成教育・再教育
◎構内運転士養成教育・再教育
◎指導操縦者の養成教育
◎既成乗務員研修

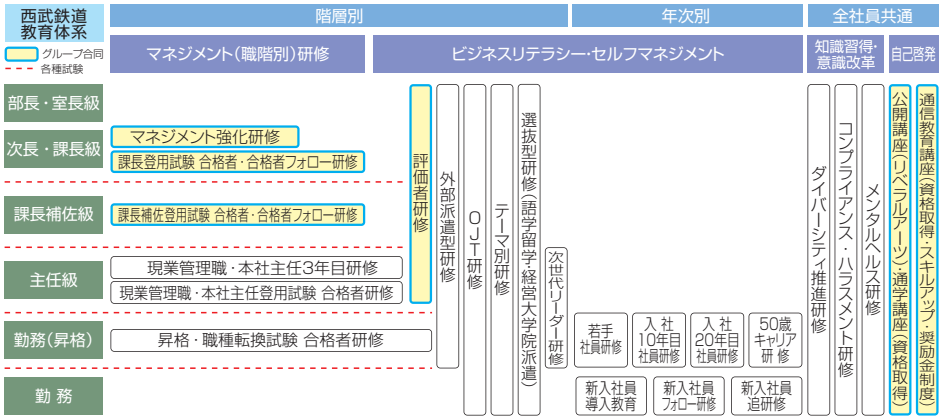
電車運転用シミュレータでは、CG映像による全天候型で運転訓練・非常時の処置・車両故障などの訓練が可能です。屋外には保線・信号・電力を実習できる教材を備えています。


電車運転用シミュレータ

■ 車掌教育

◎車掌養成教育・再教育
◎指導車掌の養成教育
◎既成乗務員研修

■ 信号係の養成教育



※2021年4月現在

社員が安心して活躍できる環境を整備しています。

働きやすい環境づくり

さまざまな設備を備えた教育施設

西武研修センター（鉄道係員養成所 併設）

西武研修センター全景

◎鉄骨鉄筋構造
3階建
◎敷地面積
22,639.19㎡
◎延床面積
5,251.08㎡

最大250人収容可能な教室のほか、コンピュータ教室・視聴覚室・大広間（95畳）・食堂・喫茶コーナー・宿泊施設（最大100人宿泊可能）・サッカー場1面などを備え、さまざまな研修・講習会などを行うことができる施設です。

安心して仕事に取り組むための施設・制度

福利厚生施設・制度の概要

■ 世帯用住宅・独身寮

世帯用住宅が新狭山に159戸あるほか、独身寮が萩山と所沢と東村山の3ヵ所にあり、定員は合計364人です。

世帯用住宅（新狭山住宅）

独身寮（所沢寮）

■ 健康支援センター

産業医を中心に保健師、衛生管理者が社員の健康管理に当たっています。

■ 社員食堂

沿線に24ヵ所あります。

■ 保険制度

団体割引が適用されるグループ保険のほか、傷害保険、医療保険、ガン保険、自動車保険があります。

■ その他

社員持株会、個人積立年金、財形制度、互助会制度、各種割引制度、社員・家族行事などがあります。

女性活躍推進を中心に各種推進

西武グループダイバーシティ推進基本方針

西武グループでは、ダイバーシティ推進に関する基本方針の長期ビジョンとして「多様な社員一人ひとりを尊重し、全員の能力と熱意を最大限に発揮できる職場風土を醸成し、イノベーションを生み出すことで、企業価値向上を目指す」と定め、女性活躍推進を中心として各種取り組みを推進しています。

約6ヵ月間のキャリアアッププログラムを開催

自分らしい女性リーダーを目指して

「自分らしい女性リーダー」を育成することを目的として、女性社員とその上司で参加する、OJT研修を中心とした約6ヵ月間のキャリアアッププログラム「SEIBUダイバーシティカレッジ」を定期的に開催しています。

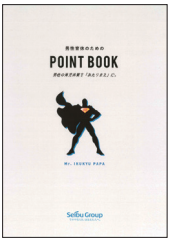
育児関係制度の充実と環境の整備

仕事と育児の両立実現

西武グループ全体の取り組みと連携して、仕事と育児の両立環境実現に向け、制度の充実、環境の整備を図っています。

◎育児関係制度の充実のほか、育児休業中の会社との情報共有ツールとして、育児休業社員に対しタブレット端末を貸与しています。

◎男性の育児休業取得促進に向けて、育児休業取得促進パンフレットを作成し、こどもが誕生した男性社員に対して配付しています。



グループビジョンに基づいたコンプライアンスを実践しています。

コンプライアンスへの取り組み

コンプライアンス体制の確立を目指して

西武グループでは、西武ホールディングスを中心とするグループ全体のコンプライアンス体制の確立を目指しています。そのために西武ホールディングスでは、次の項目を実施しています。

1. コンプライアンスに関する基本方針の決定
2. グループ各社への支援・助言
3. グループ各社のコンプライアンスに関する情報の一元管理
4. グループ各社の重要な案件について問題解決・再発防止の検討

なお、すべての役員および社員に「西武グループ企業倫理規範」「西武グループ行動指針」が記された西武グループ共通の「コンプライアンス・マニュアル」「コンプライアンス・カード」を配付しています。

西武グループ企業倫理規範

西武グループのコンプライアンスに関して、最も基本的な統一ルールとなるのが「西武グループ企業倫理規範」です。西武グループが社会の一員として責任を果たし、信頼される企業グループとなるために、常に心掛けるべき項目がまとめられています。

コンプライアンス委員会

グループ全体でのコンプライアンス意識の統一と体制強化を目指し、西武ホールディングスには西武グループ企業倫理委員会が設置されています。西武鉄道にはコンプライアンス委員会を設置し、西武グループ企業倫理委員会の決定事項を社内に速やかに伝達・反映させるとともに、企業倫理に関する問題発生を未然防止するための具体的施策の決定、活動状況の検証・見直し、問題解決および再発防止策の検討を行っています。

中期目標達成のための取り組み

西武グループの中期目標（2019～2023年度）である「従業員一人ひとりが、コンプライアンスを正しく理解し、コンプライアンスを『当たり前のこと』として行動する」のもと、西武鉄道では「コンプライアンス実践の必要性再認識」「コミュニケーションにおける質の向上」「ハラスメントの防止・根絶」を2021年度の重点テーマとしています。

具体的な取り組みとして、各種階層別のコンプライアンス研修や社長と若手社員との意見交換会を実施するほか、従業員向けにコンプライアンス関連のさまざまな情報を発信しています。

西武グループコンプライアンス基本方針

『グループビジョンに基づいたコンプライアンスの実践』

中期目標 （2019～2023年度）	従業員一人ひとりが、コンプライアンスを正しく理解し、コンプライアンスを「当たり前のこと」として行動する。
2021年度 西武グループ コンプライアンス活動方針	（スローガン） 「傾聴、受容からはじまるポジティブストロークを実践し、相手や社会の期待にこたえよう」

企業倫理ホットライン

コンプライアンスに反するような事柄を従業員が発見したとき、それを会社として速やかに把握し、大きな問題に発展することを防ぐために設置しています。特定の行動が、コンプライアンス違反かどうかの相談も受け付けます。

セクハラ・人間関係ホットライン

セクシュアル・ハラスメントおよび職場の人間関係についての相談窓口として設置しています。より気軽に相談できる環境の整備および職場におけるハラスメントを抑止する効果を発揮しています。

西武グループコンプライアンス基本方針に基づいた西武鉄道の取り組み

西武グループとしてのコンプライアンスの取り組みを踏まえ、
西武鉄道では「ルール」「組織」「浸透・定着活動」を柱として、
コンプライアンス体制の構築、コンプライアンス意識の浸透・定着を図っています。

グループビジョン ・・・・ ■グループ理念　■グループ宣言　■スローガン

▼

西武グループ企業倫理規範 ・・・・ 「グループビジョン」に基づき定めた、コンプライアンスに関する最も基本的なグループ統一のルール

■経営トップのコミットメント

実践していくために

▼

当社の取り組みの柱

- ルール
- 組織
- 浸透・定着活動

・・・・

[ルール]
- ■ 行動指針
- ■ コンプライアンス・マニュアル
- ■ コンプライアンス・カード
- ■ コンプライアンス体制規程

[組　織]
- ■ コンプライアンス委員会
- ■ コンプライアンス部
- ■ コンプライアンス・リーダー、推進者
- ■ 企業倫理ホットライン
- ■ セクハラ・人間関係ホットライン

[浸透・定着活動]
- ■ コンプライアンス行動計画の策定
- ■ コンプライアンスウイークの実施
- ■ コンプライアンスアンケートの実施
- ■ コンプライアンス研修・職場教育の実施
- ■ 情報誌「コンプラステーション」の制作・発行

社長と若手社員との意見交換会の様子